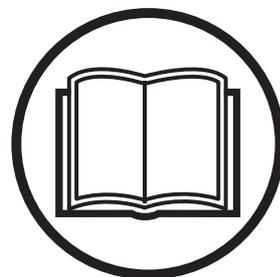


取扱説明書

DCR 300 DCR 100



日本語

本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください。

マークの説明

シンボルマークの意味

警告！警告！不注意な取扱や誤った取扱は、作業者や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

身体保護具を着用してください。
「使用者の身体保護具」の項に記載されている説明を参照してください。

警告！巻き込み事故にご注意ください！駆動部品を持つ機械で作業をする際は、常に巻き込み事故による傷害の危険性があります。

警告！高温の表面にご注意ください。

警告！解体するものが切断時にゆるむ可能性があるため、注意してください。個人用の身体保護具を使用して、距離を保つようにしてください。

警告！マシンの電源を切っても、油圧が残っています。サービスを依頼する前に取扱説明書をご確認ください。

リフト装置はマシンのすべての持ち上げ位置に取り付ける必要があります。

環境マーク 製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示しています。電気・電子機器の再利用を行うため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。

以上を守ることにより本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。

本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。

マシンに付いている他のシンボル/ステッカーは、諸地域固有の各種基準に対応したものです。



警告レベルの説明

警告は3つのレベルで構成されます。

警告！



警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

注意！



注意！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が怪我をしたり、あるいは周囲に損傷を与えたりする危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、材料やマシンに損傷を与える危険があることを意味します。

目次

目次	
マークの説明	
シンボルマークの意味	2
警告レベルの説明	2
目次	
目次	3
概要	
お客様へ	4
特長	4
各部名称	
ツールの各部名称	5
組立と調整	
一般注意事項	7
マシンへのツールの取り付け	7
油圧ホースの接続	7
油圧ホースの取り外し	7
位置設定可能なジョーの調整 (DCR100).....	7
操作	
いつも常識のある取り扱いを	9
安全な作業	9
職場の安全.....	9
マシンの危険領域.....	9
作業場所	9
個人の安全.....	9
油圧の安全.....	9
マシンに取り付けられたツールの使用	10
搬送と保管	10
メンテナンス	
DCR300	11
メンテナンスのスケジュール	11
清掃	11
一般点検	11
鉄筋用カッター	11
潤滑剤の使用	11
ジョー.....	12
推奨する溶接ワイヤ	12
交換可能チップ (DCR 300)	12
出力長期間の保管	12
製品の消耗.....	12
トラブルシューティングスケジュール	12
主要諸元	
主要諸元	13
性能	13

概要

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。

<http://www.jp.husqvarna.com/node1587.asp>

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社の製品をご購入いただくことで、専門的な修理と点検を受けることができます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービス代理店の所在地をお問い合わせください。

本取扱説明書は大切な書類です。常に作業場所ですぐに利用できるようにしてください。説明書の記載内容（使用方法、サービス、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。マシンの売却を希望するときは、必ず買主に取扱説明書も渡してください。

300年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナはスウェーデンの企業で、その歴史は、スウェーデン王のカール 11 世が Huskvarna 川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイヤモンド工具などのグローバル・リーダーです。

使用者の責任について

マシンを安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。彼らは以下を確認する必要があります。

マシンの安全に関する説明事項。

マシンの用途や使用限度の範囲について。

マシンの使用方法とメンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業エリアに適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

ハスクバーナは継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

特長

ハスクバーナの製品は、高性能、高信頼性、革新的技術、先進的な技術的ソリューション、および環境への対応など、様々な特長により、他社と一線を画しています。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

交換可能な鉄筋用両刃カッター

片側の刃が磨耗した場合、カッターを 180° 回転して新しいシャープな刃に変えることができます。両面が磨耗した場合、カッターを交換できます。

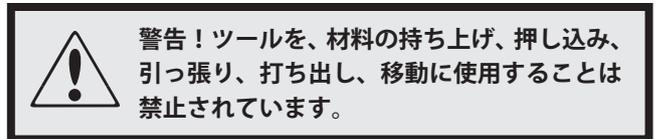
調整可能なジョー (DCR 100)

ジョーは調整することで、31mm から 420mm の厚さの切削材料に対応できます。

交換可能チップ (DCR 300)

チップは溶接作業の場合、取り外し、磨耗した場合、交換できます。

用途



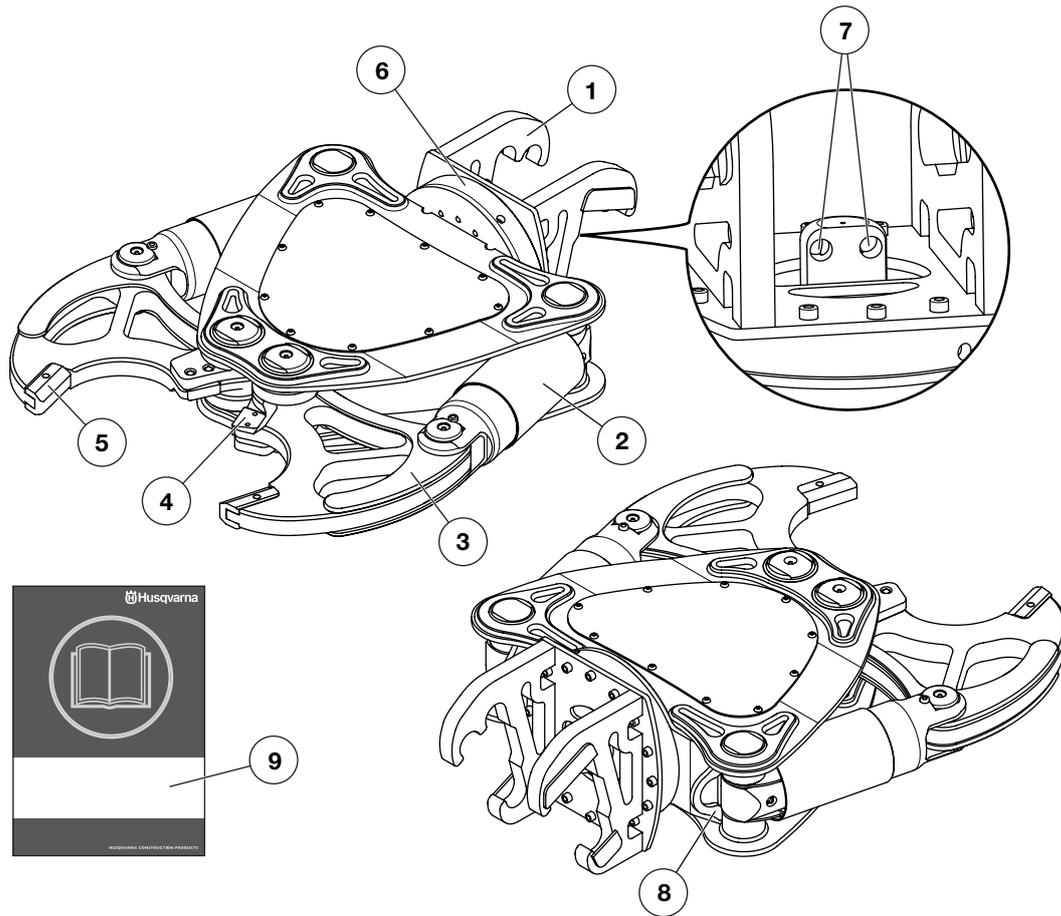
ツールは、壁、天井、フロアなどのコンクリート建造物を破壊解体するためのマシンに取り付けることを想定して開発されています。

ツールは、以下に記載するマシンのみと併用します。

	DCR 300	DCR 100
DXR 310	X	
DXR 250	X	
DXR 140		X

マシンは、産業用途における熟練オペレータの使用を意図して開発されています。

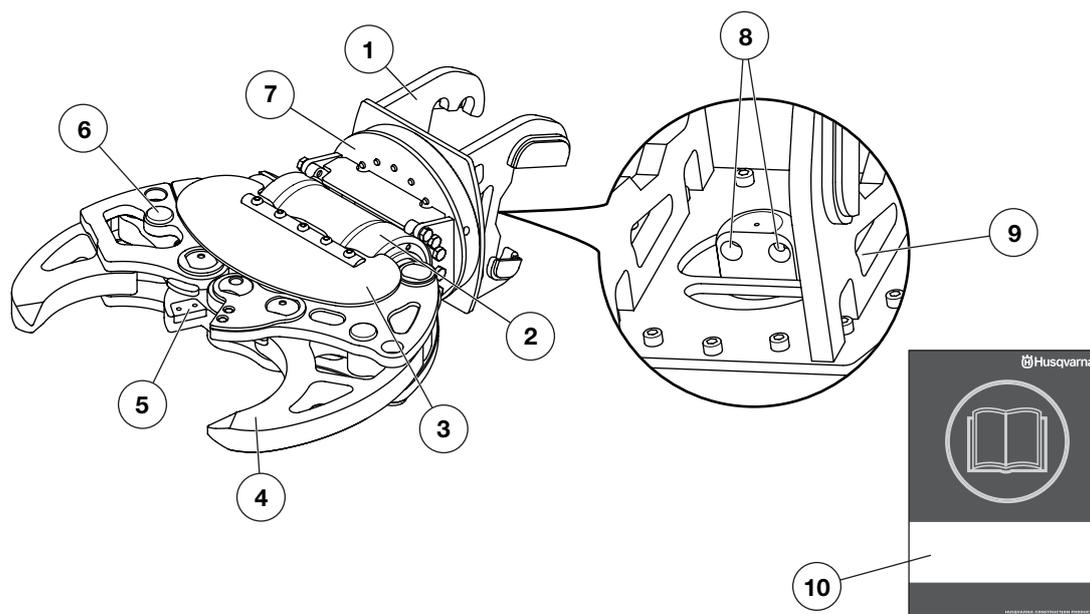
各部分の説明



ツール DCR 300 の各部名称

- 1 ツールアタッチメント
- 2 シリンダー
- 3 ジョー
- 4 鉄筋用カッター
- 5 チップ
- 6 360° 回転ベアリング
- 7 油圧接続部
- 8 リフティングポイント
- 9 取扱説明書

各部分の説明



ツールの各部名称 (DCR 100)

- 1 シリンダー
- 2 保護シールド
- 3 ジョー
- 4 鉄筋用カッター
- 5 ジョー調整ピン
- 6 360° 回転ベアリング
- 7 油圧接続部
- 8 リフティングポイント
- 9 取扱説明書

組立と調整

一般注意事項



警告！ ツールが正しくしっかり取り付けられているか確認します。ツールが不意に緩んだ場合、人身傷害を引き起こすことがあります。ツールおよびマシンの性能（重量、油圧、流量など）が互換性があることを確認してください。

以下のことを実行して、汚れが油圧システムに入らないようにしてください。

- 組立や分解の前にカップリングの汚れを拭き取ります。
- ツールが取り付けられていないときは、マシンの油圧カップリングに泥よけをかけます。
- ツールがマシンに接続されていないときは、ツールのホース同士が常に接続されていることを確認します。

マシンへのツールの取り付け

- 取り付け指示については解体機械の取扱説明書をご覧ください。

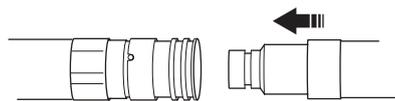
油圧ホースの接続



注意！ モーターがオフで電源コードが外れていても、パイプとホースカップリングは圧力がかかったままになることがあります。油圧ホースには圧力がかかっており、注意して開かねばならないことを常に心がける必要があります。ホースを外す前に、アームシステムを地面に置き、電気モーターをオフにして圧力を解放します。接続を外すときは十分に注意して、適切な身体保護具を使用してください。

油圧ホースには、デコンプライックカップリングが用意されています。これによって、圧力が抜けない場合でもホースの取り付けが円滑にできます。

- ツールの雄連結器をマシンの雌連結器に接続します。正常に取り付けられた場合、ナットはカチッとハマります。連結器は、雌連結器上のアウトースリーブを回転することによりロックされ、スロットはボールから離れます。



- ツールの雌連結器をマシンの雄連結器に接続します。
- モーターを起動します。
- ジョーを5～6回、開閉します。
- モーターを停止します。メインスイッチを「0」位置にして電源を切ります。
- 燃料漏れがないかチェックします。

油圧ホースの取り外し

- ジョーを最大限に開いて、油圧シリンダーを完全に格納します。
- モーターを停止します。
- スロットがボールと一致するようにアウトースリーブを回転させ、接続を解除するためにボールを押し込みます。
- マシンからツールを取り外します。取り外しの指示については解体機械の取扱説明書をご覧ください。

位置設定可能なジョーの調整 (DCR 100)

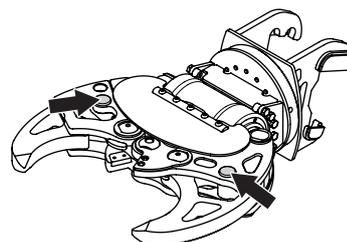


注意！ 位置設定可能なジョーは、その位置が粉砕機の垂直軸にできるように常に調整します。

2種類のスロットでピン位置を移動することで、ジョーの開きを調整することが可能です。

ジョーは調整することで、31mm から 420mm の厚さの切削材料に対応できます。

- ピン取り外し用レンチを挿入して、ピンが外れるまで押し込みます。ピンを取り出します。



- 希望する位置へジョーを移動します。孔の位置を合わせて、ピンを挿入します。

操作

防護装備

一般注意事項

- 事故のときに、助けを求めることができない状況で、パワーカッターを使用してはいけません。

使用者の身体保護具

本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具を選ぶ場合は、パワーカッターの販売店にご相談ください。



警告！使用中は、マシンから有害な化学物質を含む塵やガスが発生することがあります。扱っている物質の性質を理解し、適切な防塵マスク、あるいは呼吸保護具を着用してください。室内で作業中は換気が限られるため、特にフェースマスクが重要です。場合によっては、塵を抑えるために水をかける方が良いこともあります。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら直ぐにイヤマフを外すようにしてください。

脱脂剤やグリース、油圧油のような化学薬品は、繰り返し肌に触れることでアレルギーを悪化させることがあります。肌に直接触れないようにして、防護装備を使用してください。

使用中は、マシンから有害な化学物質を含む塵やガスが発生することがあります。扱う材料の性質を理解して、適切な粉塵マスクまたは呼吸用保護具を着用してください。

室内で作業中は換気が限られるため、特にフェースマスクが重要です。場合によっては、塵を抑えるために水をかける方が良いこともあります。

常に下記のものを着用してください。

- 承認されたヘルメット
- イヤマフ
- 認可された視覚保護具。防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国のANSI Z87.1あるいはEU諸国のEN 166規格に適合しなければなりません。バイザーは、EN 1731規格に適合しなければなりません。

- 呼吸マスク
- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴。

衣服や長髪、宝石類が稼働部品にからまることもあるため、注意してください。

使用者の身体保護具



注意！マシンでの作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消火装置をお手元に装備してください。

- 消火器
- 常に救急箱を身近に備えてください。
- 認定されたリフト装置を使用し、重機のパーツをしっかり固定して持ち上げます。

一般的な安全注意事項



警告！警告および指示はすべて読んでください。警告や指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

このセクションでは、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。

- 本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。**すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。**
- 本機は、他の製品と組み合わせて使用します。製品に添付された取扱説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- 使用者は必ずマシンの操作について訓練を受ける必要があります。購入者は使用者に訓練を受けさせる義務を負います。
- マシンは清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。摩滅あるいは損傷したデカールはすべて交換してください。

操作



警告！警告！不注意な取扱や誤った取扱は、作業者や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

子供やマシンの扱いに不慣れな人間にマシンを使用させないようにしてください。本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。疲労時や飲酒后、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。



警告！承認のない変更および／または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。

いつも常識のある取り扱いを

発生する可能性のあるすべてを予測することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください！

安全な作業

職場の安全

マシンの危険領域

作業中、マシンの危険領域の範囲内には、だれも入れないようにしてください。このことは、オペレータにもあてはまります。

作業領域はマシンの届く範囲に限られますが、危険領域は作業方法や作業の対象、表面などによって異なります。作業を開始する前に考えられるリスクを調査してください。作業中に条件が変わった場合、危険領域を定義し直す必要があります。

作業場所

- 危険な場所は封鎖してください。作業中、マシンの危険領域の範囲内には、だれも入れないようにしてください。
- 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。

- マシンは、リモートコントロールで離れたところから制御できます。マシンと危険領域をはっきりと監視できない限り、マシンを操作しないでください。
- 作業領域から障害物を片付けるまでは、絶対にマシンで作業を開始しないでください。
- 平坦でなかったり、ゆるみまたはオイル、氷などのために滑る危険性が高い環境で作業する場合は、注意を怠らないでください。
- 作業を開始する前に、地面の状態や負荷のかかる構造物などを点検し、ものやマシン、スタッフが転倒しないように防いで、存在しうる危険に対処します。
- 屋根やプラットフォーム上など高いところで作業するときは、危険領域のサイズを大きくしてください。地上で危険領域を定義して遮断し、ものが落下して怪我の原因とならないようにします。
- 爆発の危険性がある環境ではマシンを使用しないでください。燃えやすい環境で作業するときは、火花の発生による危険を考慮してください。
- 電気のケーブルやパイプラインがどこを通過しているかを常に確認して、マークしてください。
- 密閉された空間の空気は、ほこりやガスなどで急に健康に有害となる恐れがあります。防護装備を使用して、換気が十分であることを確認してください。

個人の安全

- 疲労時や飲酒后、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- 身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。
- 間違った操作や予期しない事故が原因で、倒壊することがあります。作業対象物の下には絶対に立たないでください。
- 押しつぶされる危険がある場所には絶対に立たないでください。マシンの位置が急に変わることがあります。マシンがオフのときでも、上がったアームの下には絶対に立たないでください。
- 1人で作業しているときは、携帯電話や他の装置によって非常警報機が使用できるようにして、リスクを軽減してください。
- 人や動物が使用者のそばにいと、操作ミスを引き起こすおそれがあります。そのため、常に作業に集中するようにしてください。子供にマシンを操作させないでください。
- 常に緊急停止に楽に手が届くような状態で作業してください。

油圧の安全

- 火傷の危険ツールの接続に関係なく、油圧オイル、ホースおよび接続部は極めて高温になります。適切な身体保護具を着用してください。
- マシンの温度が低くなってから、油圧システムを駆動してください。

操作

- 全ての連結器、接続部、油圧ホースが正常な状態であることを確認してください。
- 油圧ホースと連結器は汚さないでください。
- ホースを誤使用しないでください。
- 歪みや摩耗、損傷のあるホースを使用しないでください。
- ホースが鋭い角に当たっていないか確認します。噴射摩耗の危険性に注意してください。
- 油圧ホースが完全に伸びきらないように、長さを調整してください。
- 取り付け中にホースがねじれていないか確認します。
- ホースが激しく曲がらないようにしてください。
- 油圧システムに圧力をかける前に、ホースがマシンに正しく接続されていて、油圧連結器が規定通りロックされていることを確認します。連結器は、雌連結器上のアウタースリーブを回転することによりロックされ、スロットはボールから離れます。

システムの圧力ホースは常にツールの吸入口に接続しなければなりません。システムのリターンホースは常にツールの排出口に接続しなければなりません。接続を間違えるとツールが逆に動作して、傷害事故を招くことがあります。

ホースのコネクターやカップリング、シリンダーに漏れがないか確認してください。破裂や漏れは、本体における「油圧オイル噴射」を引き起こし、深刻な怪我を招く恐れがあります。

漏れのチェックは手を使わないでください。漏れた液体との接触は、油圧システムの高圧による深刻な怪我を招く場合があります。

使用する工具に対して指定された油圧オイルの流量や圧力値を超えないようにしてください。過剰な圧力や流量は破裂を招く恐れがあります。

マシンに取り付けられたツールの使用

- モーターが作動している状態、および管理者のいない状態でマシンを放置しないでください。
- マシンを移動する前には常に電源をオフにしてください。
- 長時間の休憩時には常にマシンの電源を抜いてください。
- すべてのカップリング、接続部、コードに損傷がなく、汚れのないことを確認します。緊急事態が発生した場合、赤い緊急停止ボタンを押してください。
- すべての部品が良好に動作し、付属品が適切に固定されていることを確認します。
- 使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。
- メンテナンスおよびサービスを実施する際は、身体保護具およびマシンの部品を機械的に固定する装置を使用してください。
- サービス作業またはトラブルシューティングでマシンをオンにする必要がなければ、電源コードを外し、間違っ

て接続されることがないように配置する必要があります。

- パイプおよびホースのカップリングは、モーターのスイッチをオフにしても圧力がかかったままになることがあります。分解のときは、ホースに圧力がかかっていることを常に想定して作業してください。接続を外すときは十分に注意して、適切な身体保護具を使用してください。
- 認定されたリフト装置を使用し、重機のパーツをしっかりと固定して持ち上げます。
- いくつかの部品はマシンの作業中に熱をもちます。マシンの温度が下がるまで、サービスやメンテナンス作業を開始しないでください。
- 作業が終わったら、マシンをオフにする前にアームを地面に降ろします。

搬送と保管

ツールの持ち上げ

- ツールを持ち上げる場合、人身傷害やマシンや周りのものが破損する危険性があります。持ち上げるときは、危険領域を定義してだれもその領域にいないことを確認します。
- 認定されたリフト装置を使用し、重機のパーツをしっかりと固定して持ち上げます。
- リフト装置はマシンのすべての持ち上げ位置に取り付ける必要があります。
- 積荷の固定
- パレットにツールを固定し、フォークリフトで取り扱います。
- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかりと固定してください。

移動

- 短い距離を移動する場合、マシンに取り付けたままでツールをゆっくりと移動できます。アームシステムを引っ込めます。重心をマシンの重心にできるだけ近づけます。
- 傾斜路を使用して積み下ろしする場合、ツールはマシンから取り外してください。

保管

- マシンからツールを取り外します。
- ツールは安全かつ許可を受けていない人が入ることができない場所に保管します。安定した位置にあって転倒しないことを確認してください。ツールを高いところや斜面に置いた場合、動いたり落下しないようにしっかりと固定する必要があります。ツールの油圧カップリングは汚れたり破損しないように保護してください。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。
- マシンおよび装置は乾燥した寒さに耐えられる場所に保管してください。

メンテナンス

一般注意事項



警告！使用者は本取扱説明書に記載されている点検とサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

本セクションに記載されている操作はすべて、マシンからツールを取り外して地面に置いた状態で実施しなければなりません。

メンテナンスおよびサービスを実施する際は、身体保護具およびマシンの部品を機械的に固定する装置を使用してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると、機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

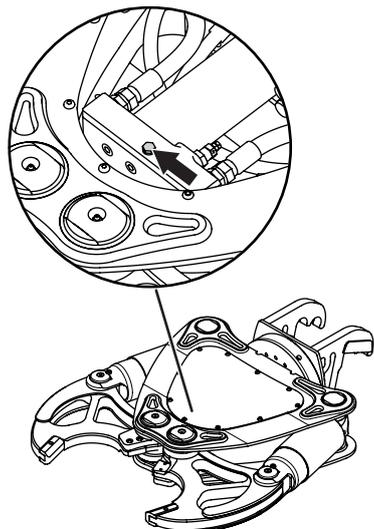
- ・ ハスクバーナの販売店には定期的にマシンの検査をさせ、不可欠な調整や修理を行わせてください。

DCR300



注意！残っている油圧を放出してから、点検修理等を実施するようにしてください。

- ・ ジョーを最大限に開いて、油圧シリンダーを完全に格納します。
- ・ ネジをはずして、残っている油圧を放出します。



メンテナンスのスケジュール

メンテナンススケジュールにより、メンテナンスが必要なマシンの箇所と、それを実施すべき頻度が分かります。実施間隔は、マシンが毎日使用されることを前提に算出されていて、使用頻度によって異なります。

毎日のメンテナンス	毎週のメンテナンス
清掃	ジョー
一般点検	
鉄筋用カッター	
潤滑剤の使用	

清掃

- ・ ウェスやブラシで清掃します。
- ・ 水と洗剤を使って洗うと、ツールはさらにきれいになります。

一般点検

- ・ 損傷や磨耗がないかツールをチェックします。
- ・ 全ての連結器、接続部、油圧ホースが正常な状態であることを確認してください。必要に応じ交換します。
- ・ シャープレードを固定しているボルトの締め付け状態をダイナモメトリックレンチで検査します。

鉄筋用カッター

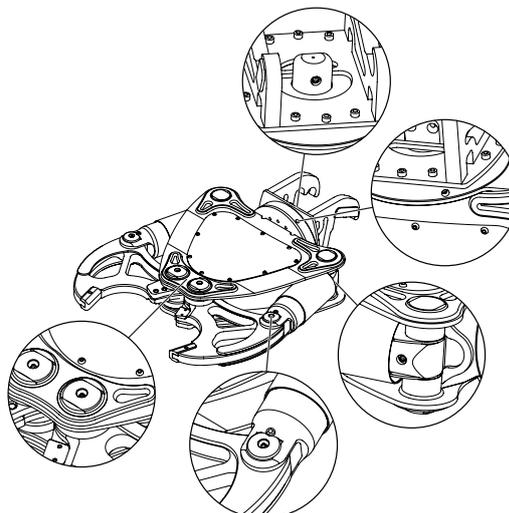
- ・ 片側の刃が磨耗した場合、カッターを 180° 回転して新しいシャープな刃に変えることができます。両面が磨耗した場合、カッターを交換できます。常に純正の部品をお使いください。
- ・ カッターを点検します。ひび割れや損傷しているカッターはけっして使用しないでください。

注意！損傷しているカッターはツールの損傷を引き起こすことがあります。ひび割れや損傷しているカッターはけっして使用しないでください。

潤滑剤の使用

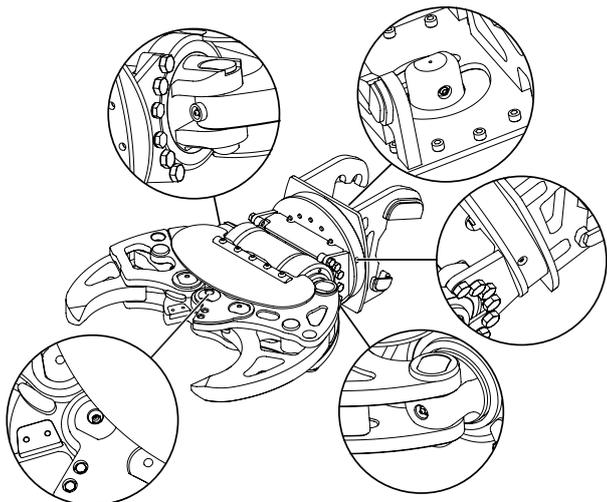
注油箇所は赤丸で示されています。ニップルが壊れている場合、交換してください。

DCR300



メンテナンス

DCR100



ジョー



注意!ジョーのメインピボットの取り外しと取り付けは、認定されているサービス代理店で実施しなければなりません。

ジョーの粉碎面の磨耗を検査して、必要に応じて充填材を付加します。

- 有害ガスが発生するのを防ぐため、充填材を付加する前に残留塗料をすべて除去します。
- 表面を 150 ~ 200℃ まで予熱します。
- 充填材を付加した後、室温までゆっくりと冷却します。

推奨する溶接ワイヤ

- ESAB OK 83.30 DIN 8555-E1 300
- ESAB OK 83.50 DIN 8555-E6-55
- SIEV-FRO B-500
- SIEV-FRO B-600

交換可能チップ (DCR 300)

チップは溶接作業の場合、取り外し、磨耗した場合、交換できます。

長期間の保管

長期間保管する際は、必ず事前に本機を清掃し入念なサービスを行ってください。

製品の消耗

このマシンは長年にわたって使用する前提で製造されています。このことは、マシンによる環境への影響を最低限に抑制するという意味合いもあります。本取扱説明書の指示に従ってサービスやメンテナンスを実行してください。このことは、エンジンの寿命を延ばし、危険な排ガスを最小限に抑えることにもなります。マシンが消耗して使用できなくなったら、リサイクルまたはスクラップするためにマシンを廃棄しなければなりません。廃棄とリサイクルに関する地域の条例にしたがってください。

トラブルシューティングスケジュール



警告!スタッフがマシンの危険領域内に入る必要があるために、マシンに関わるほとんどの事故は、トラブルシューティング、サービスおよびメンテナンス時に発生します。用心深く、計画性のある作業や準備により、事故を防止してください。サービス作業またはトラブルシューティングでマシンをオンにする必要がなければ、電源コードを外し、間違っても接続されることがないように配置する必要があります。

問題	原因	可能なアクション
性能の低下	不十分な流量と油圧またはそのいずれか。	すべての油圧ホースと接続部が損傷しておらず、正しく接続されていることを確認します。
		油圧システムに障害がある。*
振動	ネジやボルトが緩んでいるか欠落している。	ネジやボルトの締め付けトルクを検査する。欠落しているネジを交換する。*
粉碎機が開閉しない	流量および油圧が足りない。	油圧システムに障害がある。*
はさみの動きが逆である	供給ホースとリターンホースが逆になっている。	供給ホースをツールの吸入口へリターンホースをツールの排出口へ接続する。
オイル漏れ	接続の緩み。	接続部を締める。
	ホースまたは連結器の損傷。*	損傷しているホースまたは連結器を交換する。*

* 認定されたサービス代理店で実施。

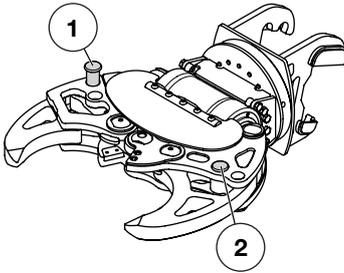
主要諸元

主要諸元

	DCR300	DCR100
接続プレートとホース付きの重量、kg (lb)		
適合キャリア	DXR310/DXR250	DXR140
油圧システム		
最大入力圧力、バール (psi)	200 (2901)	200 (2901)
作動圧力、バール (psi)	500 (7252)	200 (2901)
最大流量、リットル/分 (gal/分)	100 (26)	55 (15)
寸法		
接続プレート付きの高さ、mm (インチ)		
幅、mm (インチ)	883 (34 3/4)	730 (28 3/4)
幅、mm (インチ)	323 (12 3/4)	322 (12 3/4)
チップ間の最大間隔、mm (インチ)	435 (17 1/4)	430 (17) ¹
チップ間の最小間隔、mm (インチ)	30 (1 1/4)	30 (1 1/4) ²
回転角度	自由回転 360°	自由回転 360°

¹ 外側のピン位置 (1)。

² 内側のピン位置 (2)。



性能

DCR 300

ジョーの深さ、mm (インチ)	195 (7 3/4)
閉時間 (容量 65 リットル/分)、秒	2,8
開時間 (使用している掘削機の性能に依存)、秒	
チップ位置の最大出力 (粉碎を開始する最大オープン位置で) kN	440
最大ロッド切断力、kN	1400
最大ロッド切断直径、mm (インチ)	30 (1 1/8)

DCR 100

ジョーの深さ、mm (インチ)	185 (7 2/8)
閉時間 (容量 52 リットル/分)、秒	3,9
開時間 (使用している掘削機の性能に依存)、秒	
チップ位置の最大出力 (粉碎を開始する最大オープン位置で) kN	335 ¹ / 317 ²
チップ位置の最大出力 (粉碎が終了する最小オープン位置で) kN	155 / 159 ²
ブレード上の最大出力 (中間位置で) kN	920
最大ロッド切断直径、mm (インチ)	28 (1 1/8)

¹ 外側のピン位置 (1)。

² 内側のピン位置 (2)。

1154310-79



2011-08-04